

そらまめのさやとりをしたよ♪

5月18日(木)1年生が、給食室のお手伝いをしてくれました。

大きなさやは実がなる時に、空に向かって成長するので、「空豆」(そらまめ)と名前がつけました。旬の空豆を食べられるのはこの時期だけです。給食の手伝いをする前日には、「そらまめくんのベッド」を担当が読み聞かせしました。さやをむいてふかふかなベッドを見た時には感動した様子を感じ取れました。



前日の食育クイズは
「ふかふかのサヤに並んで入った大きな豆。
みどり色で黒い口したこの豆はなあに？」
こたえは・・・



中華(ちゅうか)料理(りょうり)の調味料(ちょうみりょう)「豆板醬(とうばんじゃん)」は、このそらまめからつくります。

全部で10kgのそらまめのさやとりをしました。

コロコロと床に落ちてしまったものは、給食では使えません。一人一人が気を配って作業してくれました。



そらまめを調理員に届け、ジャーマンポテト作りをします。3つのシンクにザルを入れて3回洗浄します。ゆでたそらまめのうすからをとります。たまねぎとベーコンを炒め、むしたじゃがいもを加えて炒めます。そらまめを加え、塩こしょうをして、味を整えたらできあがりです。



さやとり作業の後には、観察して絵を描きました。目の前の食べものはこうして作られて自分のところに届くことが分かったことでしょうか。どの絵もかわいいそらまめがたくさん描かれていました。



いただきます～す！

1年生が自分たちで給食のお手伝いをして仕上がった給食になりました。

「おいしかったよ」「ふかふかのベッドだったね」とメッセージが届きました。食育体験を通して、食べることに興味・関心を抱き、食べるのが好きになってくれることを願っています。